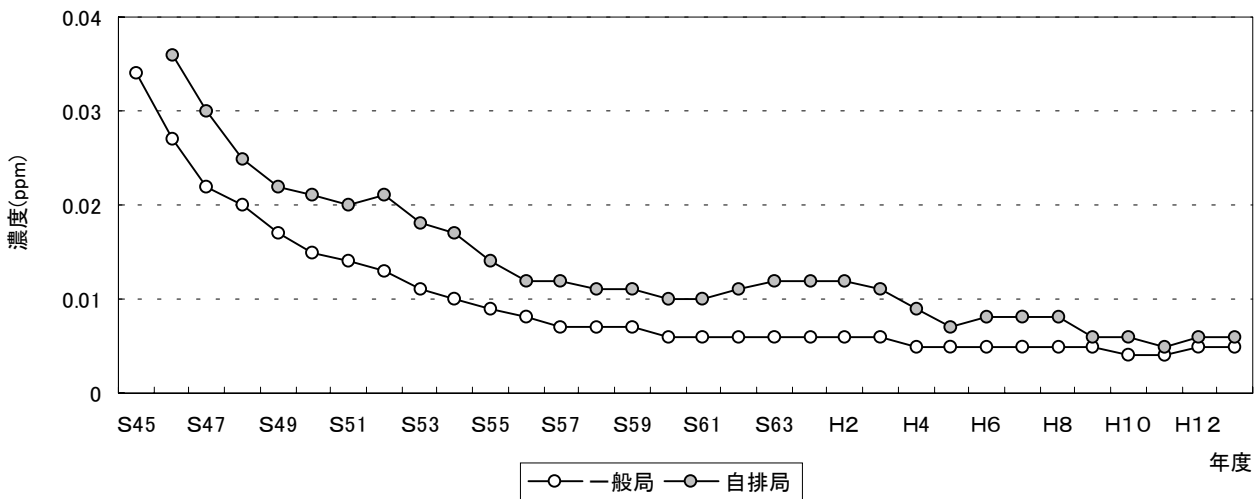


4. 二酸化硫黄 (SO₂)

平成13年度の二酸化硫黄の有効測定局は、1,584局(一般局:1,489局、自排局:95局)であった。長期的評価による環境基準達成率は、一般局で99.6%、自排局で100% (昨年度は、三宅島の火山ガスの影響により、一般局で94.3%、自排局で93.8%と低下した)と近年良好な状況が続いている。

年平均値は、昭和40、50年代に比べ著しく減少し、近年では横這い、もしくは減少傾向にある(図4)。

図4 二酸化硫黄の年平均値の推移



5. 一酸化炭素 (CO)

平成13年度の一酸化炭素の有効測定局は、443局(一般局:131局、自排局:312局)であった。長期的評価では、すべての測定局において環境基準を達成しており、近年良好な状況が続いている。また、一酸化炭素濃度の年平均値は、昭和40、50年代に比べ著しく減少し、近年では横這い、もしくは減少傾向にある(図5)。

図5 一酸化炭素の年平均値の推移

